

前市長の暴言問題や辞任、8年の市政を検証 明石で緊急市民集会



泉市政8年間や暴言問題について議論した緊急市民集会＝市立勤労福祉会館

前兵庫県明石市長の泉房穂氏（55）が暴言問題で辞職したのを受けた「緊急市民集会」が3日、市立勤労福祉会館（同市相生町2）であり、約70人が参加。泉市政8年の検証と合わせ、活発な意見を交わした。

市民団体「市民自治あかし」が呼び掛けた。

当初は、同団体が市に政策提言した35項目の達成度を点検する「マニフェスト検証」を予定し、泉氏も参加予定だった。

団体世話人の松本誠さん（74）は冒頭、「2日夜、市長側から欠席の連絡が入った。出席を強く要請してきたが、残念だ。泉氏は暴言問題や辞任について、市民に直接説明する責任がある。市民も、今回の騒動だけでなく泉市政8年を冷静に点検し、新しい市長を選ぶ責任がある」と呼び掛けた。

集会では、「子育て支援、人権施策、シティーセールス」「参画と協働」など四つのテーマを議論。報告者の1人は泉市政について、「全国的な施策を打ち出すのは熱心だったが、庁舎移転や砂利揚げ場問題では、市民が意見を出せる機会が乏しく、『参画と協働』の意欲は希薄だった」と指摘した。

暴言問題や辞任についても議論。「公人としては絶対に許されない」「発覚のタイミングに違和感がある」などの意見が出た。

神戸市西区の男性は「駅前にきれいな図書館ができ、神戸がまねしたくなる町になった。生活圏は明石なので、一言言いたくて参加した」と話していた。（木村信行）